

浪板海岸

浪板海岸は、かつては緑の松と白砂のコントラストやサーフィンに適した波で知られていました。また、この浜が「片寄せ波」という言葉が生まれるほど波の勢いを吸収する荒い砂で覆われていたことも、他では見られない特徴でした。しかし、2011年3月11日の東日本大震災で発生した津波で、この砂を含む浜の大部分が流されてしまいました。地元住民による運動は、この浜を元の状態に回復しようとする取り組みにつながりました。サーファーや海水浴客は戻りつつあり、この海岸は以前の賑やかな雰囲気を取り戻そうとしています。海岸のすぐ裏手にある山々は、登山者やロッククライマー、そして浜と海岸のパノラマの景色を求める人たちを惹きつけています。